



夏季児童林間学校から

八月の一日と二日、一泊二日の予定で、三池主婦会が毎年主催してきている夏季児童対策がありました。キャンプを張り、林間学校でした。子どもたちはとても楽しかったようでした。さて子どもたちはどんなことを考えているのでしょうか。ここに二人の子どもが、林間学校生活について書いた作文を紹介いたします。

キャンプの思い出

小学六年 酒村浩二

朝八時半に家を出る。キャンプ、それに平川さんというおぼやけ場につくまで、いろいろ物は車の後ろ、母、弟、兄の七人が乗った後についであるのぼやけ場へ。話を聞いてみると、あつた。いよいよ入女にしよう。

本所から行くのは、東さんのおじさん。おぼやけ、その子でものりよう子ちゃん。それに、母と弟と兄の六人である。

車にのって集合場所の大牟田駅。車にのって集合場所の大牟田駅。便所へ行き、まうとすると、エッセイ。またはいじやした。

自分たちは車に乗って、キャンプ場へ向かった。

ぼやけの車には、会長さんと東さんのおじさんという子ちゃん。

一時、開校式があった。校長先生をしょうかいしたり、会長さんしょうかいしたり、注意して話を聞いたりした。

午後二時、閉校式があった。閉校式が終わって、それぞれの車で帰った。

午後一時半、妻がしがはじました。たのは、たからさがしです。わたしはさびし、木のあいだにはさびし、たからさがしをみつけた。

かみには、いじめないでね、とかいてありました。じきももらいました。

二はめのかみには、またあう日まる、とかいてあって、はんかちだったのに、はんかちがなかったからさびしめんをもらいました。

また、らひんがたのしきです。

たからさがし

小学二年 ももだまこみ

池がきれいだった。午後八時朝食。こんだては、ごはんとみそ汁とつけもの。午後九時レクリエーション。ドッチボールがあった。ぼんたちは二連勝した。

正午昼食。こんだてはおにぎりと味噌汁。午後一時夕食。こんだてはおにぎりと味噌汁。

参加賞として、スケッチブックをもらった。

まいとし、おかあさんたちがわたりました。

キャンプは、まいとしがうらたれていへます。ごごご三かひめです。

わたしは三かひめとわたりました。キャンプでいじやしたのしき。

三池主婦会主催の林間学校。参加した子どもたちは、すっかり一つに溶けこみ、朝はラジオ体操、イチ、ニイ、サン。涼しい風が、みんなの間をくぐりながら流れていった。楽しいアルバム。



主婦A この頃よく挨拶の中

女は口を出さず、とか、女のくせにとかいって、女が少しでも自己主張すると、「かかあ天下」だといわれ、夫に服従することが女の美德とされて、社会のす

主婦A 社会的に大きな役割を果たしている母性に対して、日本では、社会的保護が少ないね。産前産後の問題、お産の経費の負担、母体の健康診断等も、国で当然負担すべきと思うよ。

主婦B 男女の差別では、賃金があるね。同じ仕事をしても安かろうが、同一労働、同一賃金にすべきよ。

主婦C 男女平等については、まだまだ問題があると思うよ。婦人自身が知らなかったりあきらめたりしている所があるもね。生活の二つ二つに問題意識をもつていかんとせんね。また、男性の意見をきくことも忘れてはできんと思うよ。

主婦A 同 そうやう、うちの父ちゃんの意見もきくことにしよう。

或る日の対話

国際婦人年について

主婦会港務 一主婦

主婦A ぼお、国連だね。そもそも国際婦人年とは、皆で婦人の問題を考える年にする、という事だね。

主婦B そうたい。女性も人間として男女平等にすべきだと思ふよ。家の中でも

主婦C そればってん、男にできん事のあるよ。子供を産むこと、十月月も大きなお腹をかかえて、生

囚人合葬之碑吟行記

退職者の会 高 椋 竜 生

宮浦俳句会から句案内のハガキが届き、当日私は炎天下、竜湖の順照寺へと自転車をこいだ。

このあたり小山かけに墓があり、この辺りは三池石炭山崩れの地としても知られているところである。

順照寺の境内には、囚人合葬之碑があり、その碑の右手にホトトギス同人(故人)河野先生の句碑が、小じんまりと建っている。

永久の やすらぎ 得し 龍生

囚人墓洗ふ炭釜俳句会 草光

ねんごに言はらひけり囚人墓 矢名

馬の墓あるとふみ草のいきり 草光

明治二十五年五月建。とあり、彫りの一字一字に囚人の怨念が深くかかっているかと思えた。

合葬之碑面には、福岡県元三池監獄在監人 死亡者

世話係のついでつれた線香がめいめいに、それぞれ一煙をささげ冥福を祈るのだった。

三池炭鉱の中核労働者であった囚人たちのその罪非罪として、その功績を讃えるためのこの法要。

囚人の奥津城(墓)は、熊本に地にも及ぶという。これらの墓地は絶対に保存されるべきで、囚人労働の悲惨の功績を伝える若千の史蹟を後世に守り伝えるための、囚人墓地保存会(会長本吉敬治)の持つ意義は深く、尊い。

囚人墓地掃むらに輝くれそびえ立つ柿の木に輝くしぐれが、碑石にしみじみとしみとおる静かな寺の風やである。

十日蓮心寺(大牟田市西有明町)で、大牟田囚人墓地保存会の手で、死没囚人労働者法要が営まれ、東京在住の評論家の神崎清先生もかけつけられるなど、盛況でした。

随想

囚人合葬之碑のあるところを走らせていた。



福岡県元三池監獄合葬之碑。近くの民家の軒先にあつたのを、囚人墓地保存会の発起により、昭和47年に現在の順照寺境内に移葬した。時折り、参拝する人の影を見るようになった。